

2

支え合うコミュニティ

子育て、長寿を楽しみ、安心して いきいきと暮らせるまち

【関連する主な分野】・・・子育て、地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、低所得者福祉、医療・保健、コミュニティ※、ボランティア※、市民活動、防災・防犯活動

地域の組織や市民活動の力を活かしながら様々な活動をコーディネート※し、多くの市民が参加できる環境を整えることで、みんなが支え合い、子育て、長寿を楽しめるまちをめざします。さらには、そうした地域の力が防災や防犯などの地域の課題解決にも活かされ、誰もが安心していきいきと暮らせるまちをめざします。

達成方針

2-①<地域力> 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす

2-②<市民力> 市民一人一人の主体的な参加により、地域で支え合う環境をつくる

2-③<健康・安心・福祉力> その人らしく安心できる生活を支援する

地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす

現状と課題

- 全国的に厳しい財政状況が続くなか、急激な高齢化とともに進展する少子化や生産年齢人口(15～64歳)の減少に伴い、本市の財政状況においても扶助費が増加しており、世代間で高齢者を支える社会保障制度の見直しなどが求められています。
- 少子・高齢化が進むなかで、核家族化や一人暮らし高齢者の増加に伴い、子育てや介護に際して負担感・孤立感をもつ人が増えています。
- 障害者には、「白い杖を持つ人」や「車椅子の人」だけでなく、様々な障害のある人がいることや、その程度やニーズも多様であることの認識が社会に定着しておらず、地域活動に参加しにくい状況にあります。
- 子育てや介護のほか、医療や防災・防犯など地域における様々な課題についての共通認識がされておらず、連携・協力して問題解決にあたる力も不足しています。
- 本市では、多くの分野で市民活動が活発になりつつありますが、更に地域ごとに様々な活動を連携しながら支援するしくみづくりが求められています。
- 将来に対し不安な要素が多いなか、人とのつながり、身近な生活環境の改善や生活支援サービスの強化など、地域社会に密着しながら様々な課題に対応していく地域の力の蓄積が求められています。

めざすまちの姿や暮らしの状態

自治会を中心とした地域組織やNPO法人*などの市民活動団体、そしてまちに活力を与える企業など、地域社会を構成する様々な団体・組織が協力し合って、平塚のまちを舞台に様々な地域の課題解決に取り組んでいます。

課題解決には、地域の核となる施設に常駐するコーディネーター*が様々な団体・個人を結びつけ調整する役割を果たし活躍しています。

また、地域課題のうち、特に「子育て」の課題に積極的に取り組み、地域で安心して子どもを産み育てる環境が整っています。

- 地域組織、市民活動団体、企業など地域社会を構成する団体が横に連携しながら、地域力を発揮して、地域課題を解決している
- 地域の核となる施設に常駐するコーディネーターが、地域の団体や個人を結びつける役割を果たしている
- 地域課題のうち、特に「地域で子育て」に取り組み、安心して子どもを産み育てる環境が整っている

基本施策

1. 多様な地域組織や市民活動を支援する

- ◆自治会を中心とした地域組織やNPO法人※を含めた市民活動など、多様なコミュニティ活動※を支援し、活動の活性化を図ります。

【個別施策】

- 1 コミュニティ活動の活性化の推進

2. 地域力を調整するコーディネーター※が活躍できる環境を整える

- ◆地域課題の解決に取り組む様々な活動を結びつけるコーディネーターの養成に努めます。
- ◆各地域における公民館を始め、既存のコミュニティ活動拠点の機能の充実を図ります。
- ◆コーディネーターと市民活動センター、社会福祉協議会などが連携を強めて市民の活動情報の蓄積・情報発信を行うとともに、各地域活動のネットワークの構築を図ります。

【個別施策】

- 1 コーディネーターの養成
- 2 コミュニティ活動拠点の充実
- 3 地域活動ネットワークの構築



湘南ひらつか大盆踊り

3. 地域社会で家庭や地域の 子育てする力を高める

- ◆多様な世代の交流を進め、地域ぐるみで子どもの成長を見守り、支える環境をつくり出します。
- ◆子育て支援、交流、体験学習を通じて子どもが健やかに育つよう様々な人材のネットワーク化を図ります。
- ◆地域で健全に、安全に過ごせるような子どもの居場所づくりを進めます。

【個別施策】

- 1 地域教育力ネットワーク活動の充実
- 2 交流や体験を通じた育ち環境の創出
- 3 家庭や地域の教育力の充実
- 4 子どもの居場所づくり

主な事業 <地域力>

- ◆自治会活動活性化の推進
(基本施策1-個別施策1)
- ◆市民活動への支援
(基本施策1-個別施策1)
- ◆コーディネーターの養成
(基本施策2-個別施策1)



大野子どもの家

市民と市の役割

◆ 市民 ◆

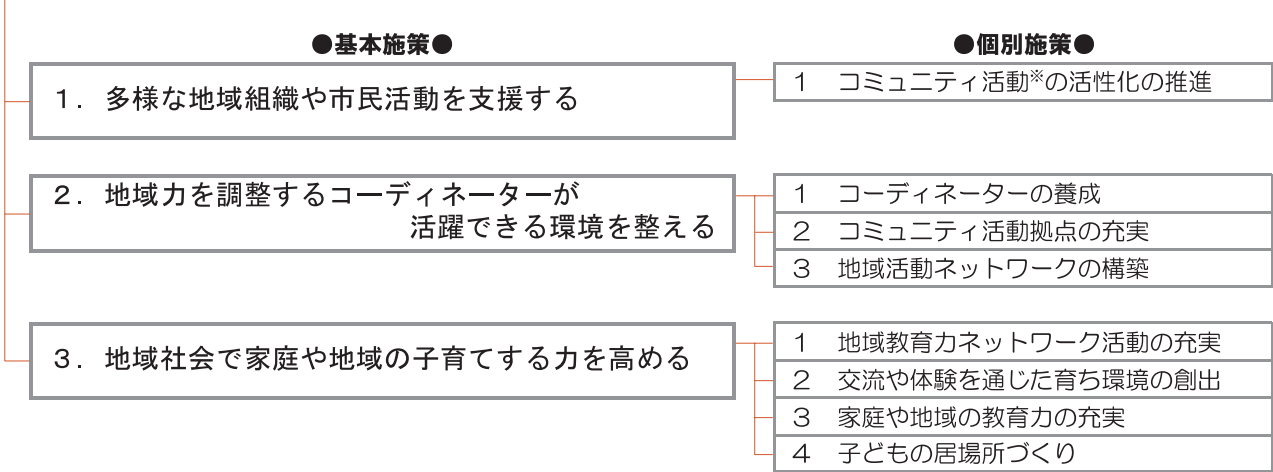
- 自治会、NPO法人※、ボランティア※などの各団体間の連携
- コーディネーター※の活用
- 地域の子育て支援活動の充実
- 地域での子どもへの声かけや見守り
- 子どもは地域の宝であるという意識による連携
- 地域の子どもに対する助言、協力
- 子どもの居場所づくりへの支援

◆ 市（行政） ◆

- 地域における各種活動の支援
- 市民活動団体に対する外部評価
- 市民、各団体への情報提供
- コーディネーターの活躍ができる環境を整える（派遣・養成）
- 各団体の活動とネットワーク化への支援
- 子育て支援活動を支える人材の育成と支援
- 子どもの居場所づくり

施策の体系

達成方針 2-① <地域力> 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす



成果指標

指標	現状値	5年後の 目標値	10年後の 目標値	備考
		【平成 23 年度】	【平成 28 年度】	
「地域ぐるみでの支え合いによって、福祉活動が進められている」と感じている市民の割合	17.0 %	24.0 %	29.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動に対する市民意識を示す
「市民・企業・行政の協働、市民全体の活動が充実している」と感じている市民の割合	8.7 %	15.0 %	20.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 市政への市民参画の状況に対する市民意識を示す
「コミュニティ活動*やボランティア*活動が充実している」と感じている市民の割合	15.4 %	25.0 %	30.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） コミュニティ活動やボランティア活動に対する市民意識を示す
ひらつか市民活動センター登録団体数	254 団体	300 団体	330 団体	行政概要（平成 19 年版） 市民活動の活発さを示す
ひらつか市民活動センター延べ利用団体数	5,026 団体	5,300 団体	5,600 団体	
ボランティア登録者数 （団体登録者数を含む）	3,323 人	4,000 人	5,000 人	平塚市社会福祉協議会ボランティアセンター資料 （平成 18 年度） ボランティア活動の活発さを示す
市内に主たる事務所を置く NPO法人数	61 団体	80 団体	120 団体	担当課資料 （平成 19 年 3 月 1 日現在） NPO活動の活発さを示す

序

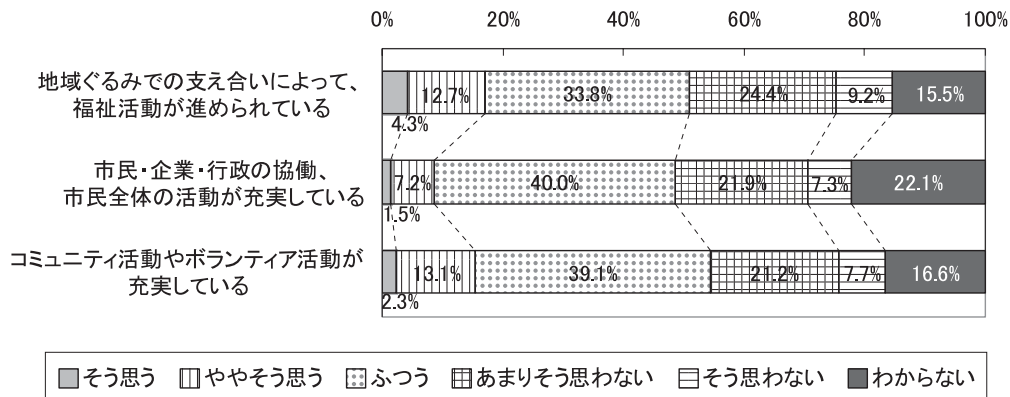
基本構想

基本計画

2

支え合いコミュニティ

●【地域力】に関連する項目の満足度●



■そう思う □ややそう思う ▨ふつう ▩あまりそう思わない □そう思わない ■わからない

注) 四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

資料：平塚市市民意識調査（平成 16 年度）

市民一人一人の主体的な参加により、地域で支え合う環境をつくる

現状と課題

- 本市では、市民の主体的な活動を支援するため、市民活動センターが運営されているほか、市民活動ファンド*が運用されています。
- 町内福祉村事業を通じて、コーディネーター*と福祉村ボランティア（地域の活動協力者）による生活支援や交流活動などを進め、地域で支え合うしくみをつくり、徐々に広がりを見せています。
- 本市全体としては、市民活動を身近に感じたり体験する機会の不足、勤労者における地域活動への参加のしにくさ、市民活動と各分野のボランティア*の窓口が一体化されていないなどの問題に対する取組みが求められています。
- ある局面では弱者として支えられる人々も、それぞれがもつ能力を発揮して、異なる場面で支え手となるような、相互の支え合いの体制のなかで、いつまでも安心して暮らせる地域社会が求められています。

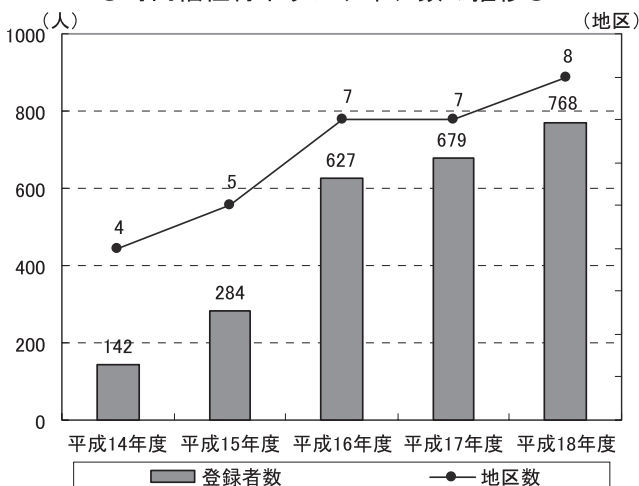
めざすまちの姿や暮らしの状態

障害の有無や年齢、性別、国籍、文化の違いに関わらず、多くの市民が地域活動や市民活動に積極的、主体的に参加し、安心した暮らしを支えるボランティアなどの活動が活発になっています。

その結果、福祉や環境、防災など地域が抱える生活課題に対して、一人一人がもつ経験や知識を活かしながら地域の住民が互いに支え合って暮らしています。

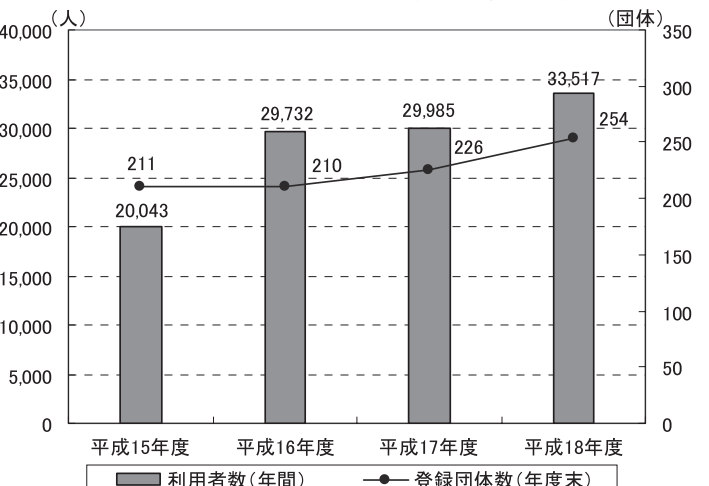
- 障害のある人ない人、年齢、性別、国籍や文化の違う人など様々な人が地域活動や市民活動に積極的に参加している
- 地域に福祉、環境、防災などの生活課題に対応できる地域ボランティアセンター機能*が充実しており、多くの地域住民が登録し、様々な支援活動を行っている

●町内福祉村ボランティア数の推移●



資料：担当課資料

●ひらつか市民活動センター利用者数、登録団体数の推移●



資料：行政概要

基本施策

1. 地域を支える活動に参加する意識を高める

- ◆市民一人一人が地域活動や市民活動に主体的に参加できるよう、広報紙やホームページなどにより、地域活動の情報提供を充実します。
- ◆地域で支え合い、助け合う地域福祉の意識を、地域住民に浸透していけるよう、福祉関連の情報の発信・提供や、教室・講座の開催など啓発・普及のための取組みを推進します。

【個別施策】

- 1 地域活動・市民活動参加意識の醸成
- 2 地域福祉意識の啓発

2. 一人一人が地域課題の解決に取り組むことができるしくみをつくる

- ◆市民の社会参加や生きがいをづくりとして、豊富な経験と知識を、地域課題の解決に活かしていきます。
- ◆地域の支え手となるような人材が育ち活躍できるよう、各地域に地域ボランティアセンター機能※を整備し、多様なボランティア※の発掘・育成を図ります。

【個別施策】

- 1 市民の社会参加と生きがいをづくりの促進
- 2 地域ボランティアセンター機能の整備
- 3 ボランティアの発掘・育成

主な事業 <市民力>

- ◆地域福祉意識の啓発
(基本施策1—個別施策2)
- ◆ボランティア活動への支援
(基本施策2—個別施策3)



市民活動ファンドの公開審査会



夜間ボランティアスクール



ボランティア育成の講習会

市民と市の役割

◆ 市民 ◆

- 身近なまちづくりへの関心をもつ
- 地域での声かけや安否確認、地域福祉活動への参加
- 自治会を中心とした地域コミュニティ活動への参加
- 市民活動、ボランティア*活動などへの参加
- 積極的な社会参加
- まちづくりに参加するためのしくみづくり

◆ 市（行政） ◆

- 意識啓発事業、情報提供
- 多様な参加機会の提供
- 市民がまちづくりに参加するためのしくみづくり・支援

施策の体系

達成方針 2-② <市民力> 市民一人一人の主体的な参加により、地域で支え合う環境をつくる

●基本施策●

1. 地域を支える活動に参加する意識を高める

2. 一人一人が地域課題の解決に取り組むことができるしくみをつくる

●個別施策●

- 1 地域活動・市民活動参加意識の醸成
- 2 地域福祉意識の啓発

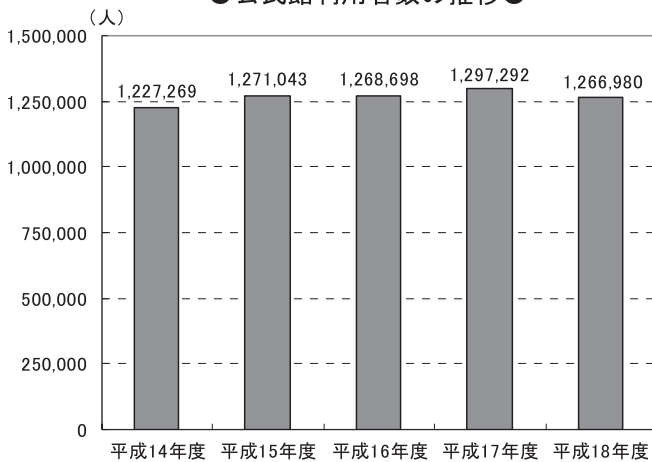
- 1 市民の社会参加と生きがいつくりの促進
- 2 地域ボランティアセンター機能*の整備
- 3 ボランティアの発掘・育成

成果指標

指標	現状値	5年後の 目標値	10年後の 目標値	備考
		【平成23年度】	【平成28年度】	
自治会への加入世帯数	78,270 世帯	82,600 世帯	85,400 世帯	行政概要（平成19年版） 地域組織活動に対する市民意識を示す
ひらつか市民活動センター利用者数（年間）	33,517 人	36,000 人	39,000 人	行政概要（平成19年版） 市民活動に対する市民意識を示す
公民館利用者数 （中央公民館及び25地区公民館） （年間）	1,266,980 人	1,452,000 人	1,602,000 人	行政概要（平成19年版） 地域コミュニティの場の利用状況を示す
生きがい事業団* 会員登録数	1,573 人	1,800 人	2,000 人	行政概要（平成19年版） 働くことに生きがいを感じる高齢者の状況を示す
ボランティア* 登録者数 （団体登録者数を含む）	3,323 人	4,000 人	5,000 人	平塚市社会福祉協議会ボランティアセンター資料 （平成18年度） ボランティア活動の活発さを示す
町内福祉村* ボランティア登録者数	768 人	1,400 人	1,800 人	担当課資料（平成18年度） 福祉村ボランティアの活動の活発さを示す

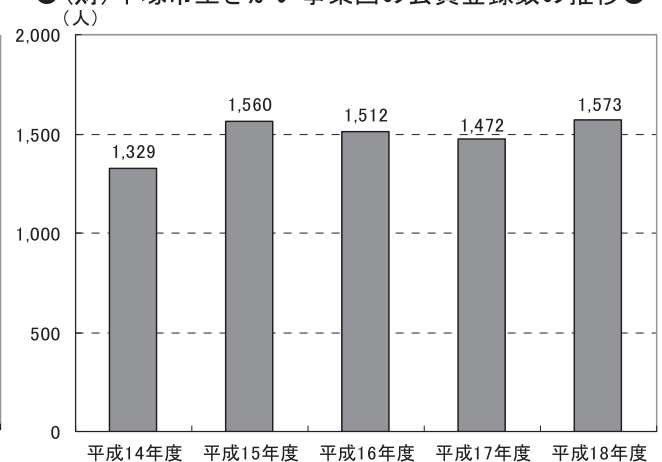
注） 公共施設などの指標については、「利用者数」で統一しています。

● 公民館利用者数の推移 ●



資料：行政概要

● (財)平塚市生きがい事業団の会員登録数の推移 ●



資料：行政概要

その人らしく安心できる生活を支援する

現状と課題

- 地域の力、市民の力、市の取組みを束ねて、総合的なサービスとして展開できるような地域ケア体制が求められています。
- 総合的な地域ケア体制のもと、市民のニーズに合わせた的確な地域密着のサービスが展開されることが重要となっています。
- 高齢者や障害者、外国籍市民などが気軽に地域に参画できる環境を整えて、それぞれの経験と知識、文化、感性を社会に役立て、いきいきと活動したり、働くことのできる環境づくりが求められています。

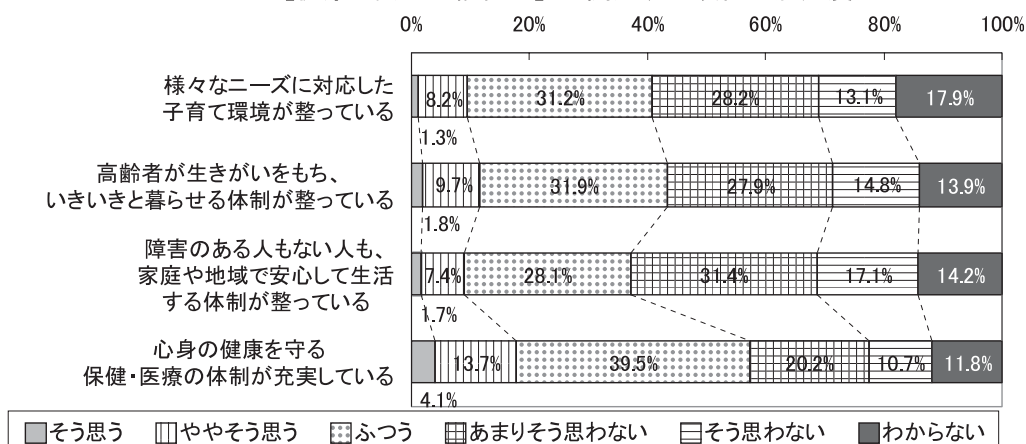
めざすまちの姿や暮らしの状態

市民生活を支える多様な地域活動や、医療や福祉を始めとした総合的なサービスが充実し、障害の有無や年齢などに関わらず、住み慣れた地域で誰もがその人らしく安心して暮らしています。

高齢者や障害者、外国籍市民を含めたすべての市民に、「地域の課題は地域で解決する」という意識が浸透し、様々な活動を通じて、互いに心が通い合い、心の垣根を感じることなく暮らしています。

- 家庭や地域のなかで、障害の有無や年齢などに関わらず、その人らしく安心できる生活をおくっている
- 健康・福祉サービスの内容や評価などに関する情報が開示され、市民が適切にサービスを選択できるようになっている
- 高齢者・障害者を含め、誰もが心の垣根を感じることなく、地域でいきいきと活動している
- 外国籍市民が、地域社会の一員としてとけこみ、暮らしている

●【健康・安心・福祉力】に関連する項目の満足度



注) 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

資料：平塚市市民意識調査（平成16年度）

基本施策

1. 総合的なサービスを展開する 地域ケア体制を充実する

- ◆住み慣れた地域で、暮らし続けられるよう、多くの市民の主体的な参加と協力のもと、福祉のまちづくりを推進します。
- ◆要援護者*の自立を図るため、就労指導員*を配置し、公共職業安定所（ハローワーク）*などとの連携により、状況に応じた就労支援を行います。
- ◆判断能力に不安がある高齢者などの権利と利益を擁護します。
- ◆安心して快適に利用できるよう、保健・福祉施設の充実を図ります。

【個別施策】

- 1 地域福祉推進体制の充実
- 2 自立支援体制の充実
- 3 高齢者などの権利擁護の充実
- 4 保健・福祉施設の充実



地域での介護予防体操



つどいの広場「もこもこ」

2. 多様な地域課題に的確かつ 総合的に対応する地域密着の サービスを充実する

1) 子育て

- ◆安心して子どもを育てられるよう、子育て支援サービスを充実します。
- ◆子育てを楽しく行えるよう、親・子・地域住民の交流の場づくりを推進します。
- ◆育児不安や悩みを解消するため、子育てに係る情報提供や相談体制の充実を図ります。
- ◆母子家庭などの経済的負担、子育ての悩みなど精神的な負担を軽減するため、自立の支援を行います。
- ◆中学を卒業するまでの医療費の一部を助成するなど、子育てに係る経済的負担を軽減します。
- ◆母子ともに健康で安心した生活がおくれるよう、子育てに関する保健サービスを充実します。

【個別施策】

- 1 子育て支援サービスの充実
- 2 親・子の交流の場づくり
- 3 情報提供・相談体制の充実
- 4 母子家庭などの自立の支援
- 5 子育て家庭への経済的支援
- 6 子育てに関する保健サービスの充実



子育て支援センター

2) 高齢者

- ◆老人クラブ*や生きがい事業団*、町内福祉村*などの活動を支援し、地域活動、地域間交流、世代間交流など、高齢者の社会参加を促進します。
- ◆ガイドブックやネットワークを活用し、介護保険制度*の情報提供を充実します。
- ◆ケアマネジメントリーダー*の活動支援、介護相談員*、ひらつか地域介護システム会議を利用した事業者間の連携により、介護サービスの質の向上を図ります。
- ◆市民と行政との連携を強め、地域ぐるみでの健康づくりと介護予防の運動を進めていきます。

【個別施策】

- 1 高齢者の社会参加の促進
- 2 介護保険制度の情報提供の充実
- 3 介護サービスの質の向上
- 4 健康増進と介護予防の推進



町内福祉村高齢者サロン

3) 障害者

- ◆障害への理解やノーマライゼーション*の考え方を理解するための啓発活動を充実し、地域活動やスポーツ、文化活動など様々な活動に対して、障害者が参加しやすい環境づくりを進めます。
- ◆在宅サービスや相談体制の充実、住宅のバリアフリー化など、障害者が地域で生活するための支援を行います。
- ◆障害者の就労促進のための環境を整備します。

【個別施策】

- 1 障害者の自立と社会参加の促進
- 2 障害者が地域で生活するための支援
- 3 障害者がもっと働ける環境づくり



電動車椅子サッカー大会



目の不自由な方のスポーツ参加

4) 医療・保健

- ◆ 市民と医療機関相互の連携を強め、更に医療学習や健康づくりについても推進します。
- ◆ 成人市民が健康で安心した暮らしをおくるために各種の保健サービスを充実します。
- ◆ 急病者が安心して適切な医療サービスが受けられるよう、救急・夜間医療を充実します。また、良質で高度な医療サービスを提供するため、市民病院の充実を図ります。
- ◆ 40歳以上の国民健康保険加入者などを対象に生活習慣病などに着目した健康診査及び保健指導を行うなど、各種検診の受診を促進し、疾病予防・早期発見に努めます。
- ◆ 子どものころから、望ましい食生活・食習慣を身につけるため、地域の食文化や農業・漁業に触れながら、学校や家庭、地域社会における食に関する教育活動を推進します。

【個別施策】

- 1 市民と医療機関の連携強化
- 2 成人の保健サービスの充実
- 3 地域医療体制の充実
- 4 疾病予防・早期発見の推進
- 5 食育の推進



健康フェスティバル

5) 防災・防犯活動

- ◆ 災害時における地域住民相互の助け合いを行うために、自主防災組織などの育成を推進します。また、企業との防災・防犯対策の協力体制の強化を推進します。
- ◆ 住宅の耐震化や地域の災害時要援護者の情報など、防災の知識や情報の普及を促し、地域での減災対策を推進します。
- ◆ 地域組織や市民活動団体、関係機関との連携を強化し、地域ぐるみでの防犯活動や交通安全活動を推進します。

【個別施策】

- 1 防災・防犯組織体制の強化
- 2 地域の減災対策の推進
- 3 地域の防犯活動の推進
- 4 地域の交通安全活動の推進



避難訓練



救護訓練

主な事業 <健康・安心・福祉力>

6) 外国籍市民

- ◆外国籍市民が地域で暮らしやすい社会を実現するために、各種支援を充実します。
- ◆外国籍市民を地域のなかで互いに支え合うことができるネットワークづくりの支援に努めます。

【個別施策】

- 1 外国籍市民への支援
- 2 外国籍市民とのネットワークづくりの支援

- ◆福祉コミュニティづくりの推進
(基本施策1—個別施策1)
- ◆保健センターの整備
(基本施策1—個別施策4)
- ◆西部福祉会館の整備
(基本施策1—個別施策4)
- ◆子育て支援センター事業の推進
(基本施策2—1)—個別施策1)
- ◆防犯街路灯の整備
(基本施策2—5)—個別施策3)

市民と市の役割

◆市民◆

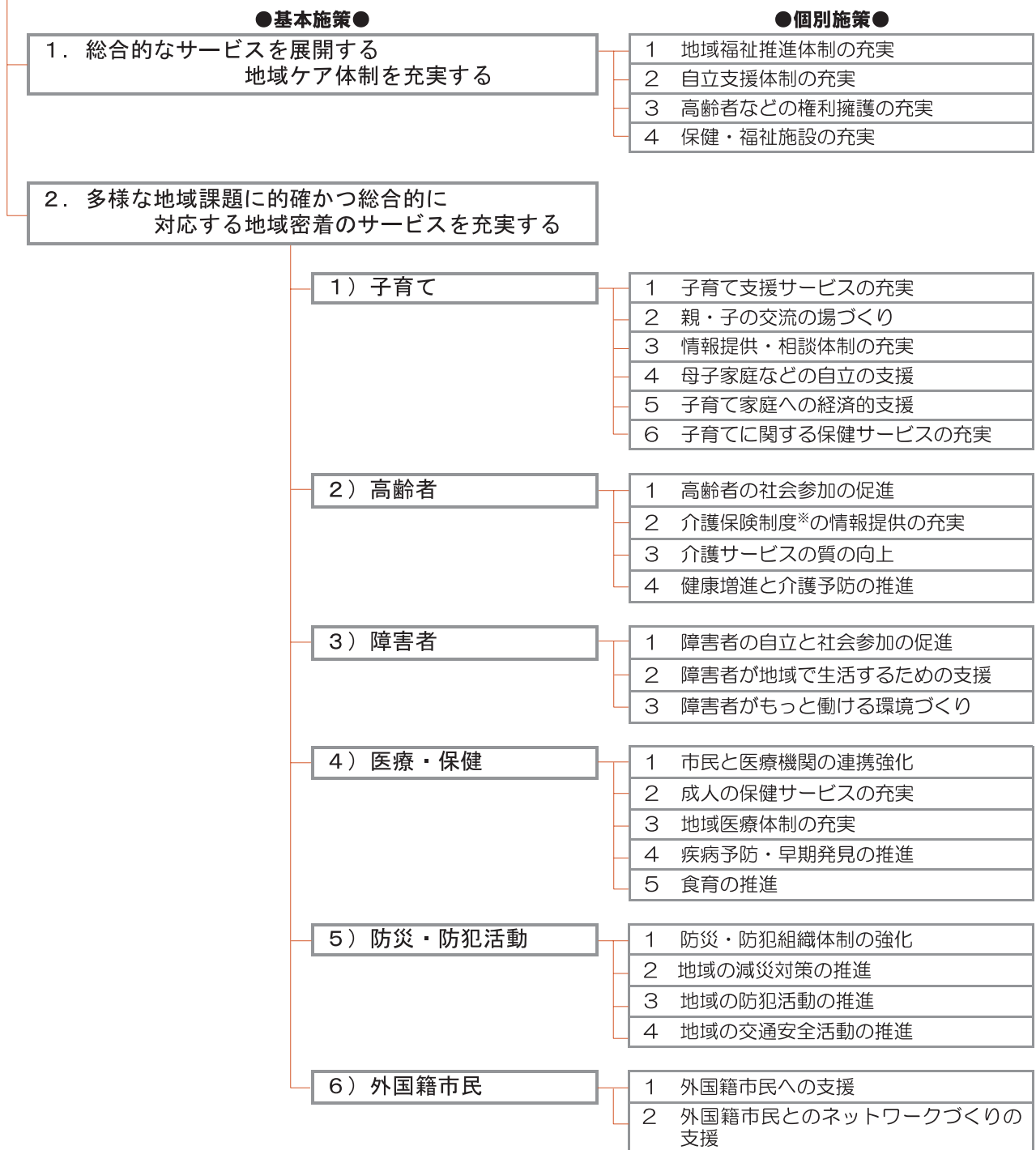
- 地域福祉活動のしくみづくり・実践
- 家族の協力による子育て
- 世代間交流などを通じた子育て支援への参加
- 高齢者、障害者への理解と支援
- かかりつけ医をもつ
- 健康に対する意識の向上
- 健康づくりの実践と仲間づくり
- 地域における健康づくり活動への参加
- 家庭での食育の取組み
- 望ましい食習慣の形成
- 防災・防犯活動への参加と意識の向上
- 外国籍市民への理解と支援

◆市(行政)◆

- 地域福祉活動への支援
- 関係機関などとの連携強化
- 子育て支援サービスや活動の場の提供と調整
- 母子の保健・医療の推進・充実
- 小児医療体制の充実支援
- 児童・高齢者虐待に対する取組み
- 高齢者、障害者への支援
- 介護・福祉サービスの充実と調整
- 健康づくりのための環境整備
- 食育への取組支援
- 防災・防犯活動への支援
- 外国籍市民への支援

施策の体系

達成方針 2-③ <健康・安心・福祉力> その人らしく安心できる生活を支援する



序



基本構想

基本計画

2

支え合うコミュニティ

成果指標

指標	現状値	5年後の 目標値	10年後の 目標値	備考
		【平成 23 年度】	【平成 28 年度】	
「様々なニーズに対応した子育て環境が整っている」と感じている市民の割合	9.5 %	20.0 %	40.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 子育て環境に対する市民意識を示す
保育園の待機児童数	35 人	0 人	0 人	担当課資料 （平成 19 年 4 月 1 日現在） 保育環境の充実度を示す
合計特殊出生率※	1.20			平成 17 年神奈川県衛生統計年報 安心して子どもを産み育てられる環境の充実度を示す
「高齢者が生きがいをもち、いきいきと暮らせる体制が整っている」と感じている市民の割合	11.5 %	20.0 %	30.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 高齢者サービスに対する市民意識を示す
「障害のある人もない人も、家庭や地域で安心して生活する体制が整っている」と感じている市民の割合	9.1 %	20.0 %	30.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 障害者サービスに対する市民意識を示す
「心身の健康を守る保健・医療の体制が充実している」と感じている市民の割合	17.8 %	20.0 %	25.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 保健・医療サービスに対する市民意識を示す
健康診断受診者数 がん検診 （年間）	32,127 人	36,700 人	38,500 人	行政概要（平成 19 年版） 市民の健康管理に対する行動の 度合いを示す
地域支援事業の実施により、 特定高齢者※に留まる人数	7 人	640 人	760 人	担当課資料（平成 18 年度） 高齢者の介護予防に対する取組 み効果を示す
介護予防サービスの実施により、 状態の悪化を防止された人数	53 人	330 人	420 人	
「日常生活の安全が守られている」と感じている市民の割合	13.0 %	20.0 %	30.0 %	市民意識調査（平成 16 年度） 防犯環境に対する市民意識を示す
自主防災組織の防災訓練参加者数（年間）	6,447 人	7,000 人	7,500 人	担当課資料（平成 18 年度） 自主防災に対する市民意識を示す
犯罪発生件数（年間）	4,833 件	4,400 件	4,100 件	行政概要（平成 19 年版） 地域の防犯意識の高揚を示す
交通事故発生件数（年間）	2,244 件	2,100 件	1,900 件	行政概要（平成 19 年版） 地域の交通安全意識の高揚を示す